2026 IWF WORLD CHAMPIONSHIPS NINGBO

2026 年世界選手権 予想検証レポート

全体編 ― 予想と結果の相違、上振れ・下振れの考察、LA28 への見通し

対象：2026 年世界ウエイトリフティング選手権（2026 年 10 月 27 日〜11 月 8 日、中国・寧波）

照合資料：IWF リザルトブック（2026 年 11 月 8 日作成）、2026 年 10 月 21 日付「大会予想レポート」

作成：静岡県ウエイトリフティング協会 事務局　平岡 康伸

作成日：2026 年 11 月 12 日

要旨 3
1. 予想と結果の相違点 3
1-1 階級別の比較 4
1-2 主な相違点 4
1-3 予想の精度を分解する 5
2. 上位に振れた選手の考察 6
3. 下位に振れた選手の理由の推察 8
3-1 記録なし（失格）・欠場となった予想上位選手 8
3-2 記録は残したが大きく下回った選手 9
4. 検量「競技開始 3 時間前」の影響の検証 10
5. 2028 年ロサンゼルス五輪までの予想 11
5-1 寧波大会後の予選ランキング（試算） 11
5-2 勢力図の見通し 11
5-3 五輪階級ごとの見通し（2028 年時点の有力候補） 12
5-4 今後の予想に生かす改善点 12
参考資料 13

要旨

10 月 21 日付の予想レポートは、IWF スタートブックの申告トータルに、2025〜2026 年の主要大会の公表記録を重ねて予想トータルを出したものでした。限られた公開情報だけで、どこまで当たり、どこで外れたのかを、リザルトブックの全 502 名・2,902 試技と照合して検証しました。

指標	予想	申告トータルだけで並べた場合	評価
優勝者の的中	8／16 階級	7／16 階級	半分的中
メダリスト（各階級 3 名）の的中	37／48 名（77%）	35／48 名	概ね的中
上位 8 名の的中	95／128 名（74%）	92／128 名	概ね的中
順位の相関（スピアマン、16 階級平均）	0.94	—	強い相関
トータルの平均誤差（記録を残した 441 名）	7.1kg（2.9%）	8.8kg	実績補正で約 2 割改善

- **有意性の判定は機能しました。**優勝予想を「高」とした 7 階級のうち 5 階級が的中し、「低」とした 8 階級では 2 階級しか当たりませんでした。メダル圏を「高」とした男子 75kg 級は、予想した 3 人がそのまま表彰台に上がりました。
- **最大の誤差要因は失格と欠場です。**予想上位 8 名のうち 18 名が、記録なし（失格）または欠場でした。大会全体の失格率は 12.2%で、トータルの予想式では扱えない「崩れ」が順位の外れの主因です。
- **直近の大陸大会の記録が最も信頼できました。**アジア大会 2026 の記録を使った 64 名は、実際との差が平均 5.0kg で、ほぼ偏りがありませんでした。一方、申告値だけの選手は平均 7.7kg 外れました。
- **検量を競技開始の 3 時間前にした効果は、今回のデータでは確認できませんでした。**メダリストの試技成功率は 74.8%で、2011〜2023 年の世界選手権メダリストの水準（約 73%）とほぼ同じです。リザルトブックに検量体重が載っていないため、減量幅との関係は検証できていません。
- **LA28 予選は混戦の度合いが増しました。**五輪階級ごとに 1 か国 1 名で並べると、8 位ラインは予想より平均で約 6kg 低くなりました。上位国が失格した分、次の予選大会（12 月のドーハ）以降で順位が大きく動く余地があります。

1. 予想と結果の相違点

1-1 階級別の比較

予想の 1〜3 位と実際の 1〜3 位を並べました。「的中」は表彰台に予想どおりの選手が何人入ったか、「優勝の有意性」は予想レポートで判定した確かさです。

階級	予想 1〜3 位	実際 1〜3 位	優勝／有意性	表彰台	順位相関
女子 49kg	RI(PRK)・ZHAO(CHN)・HUANG(TPE)	RI(PRK)・ZHAO(CHN)・HUANG(TPE)	○／高	3／3	0.971
女子 53kg	ZHANG(CHN)・ULREY(USA)・STERCKX(BEL)	ZHANG(CHN)・ULREY(USA)・KIM(PRK)	○／中	2／3	0.887
女子 57kg	OH(PRK)・CHEN(TPE)・GRIGORYAN(ARM)	OH(PRK)・CHEN(TPE)・IVZHENKO(UKR)	○／高	2／3	0.952
女子 61kg	YANG(CHN)・PEI(CHN)・PAK(PRK)	PEI(CHN)・YANG(CHN)・PAK(PRK)	×／低	3／3	0.928
女子 69kg	SONG(PRK)・RI(PRK)・RODRIGUEZ(COL)	SONG(PRK)・RI(PRK)・RODRIGUEZ(COL)	○／高	3／3	0.912
女子 77kg	PENG(CHN)・YANG(CHN)・AHMED(EGY)	YANG(CHN)・PENG(CHN)・AHMED(EGY)	×／低	3／3	0.957
女子 86kg	LIAO(CHN)・MARUSHCHAK(BRN)・MEJIA(DOM)	LIAO(CHN)・MARUSHCHAK(BRN)・MEJIA(DOM)	○／高	3／3	0.929
女子+86kg	LI(CHN)・PARK(KOR)・SARRIA(CUB)	LI(CHN)・PARK(KOR)・KIM(KOR)	○／高	2／3	0.958
男子 60kg	YANG(CHN)・PANG(PRK)・K(VIE)	YANG(CHN)・PANG(PRK)・PAK(PRK)	○／低	2／3	0.945
男子 65kg	HE(CHN)・PAK(PRK)・DING(CHN)	PAK(PRK)・OZBEK(TUR)・MORRIS(USA)	×／低	1／3	0.936
男子 70kg	RI(PRK)・PAK(PRK)・HE(CHN)	PAK(PRK)・RI(PRK)・HE(CHN)	×／高	3／3	0.964
男子 75kg	ABDULLAH(INA)・RI(PRK)・WICHUMA(THA)	RI(PRK)・ABDULLAH(INA)・WICHUMA(THA)	×／低	3／3	0.85
男子 85kg	LOPEZ(COL)・RO(PRK)・CHURKIN(KAZ)	ELSAYED(EGY)・LOPEZ(COL)・LEI(CHN)	×／高	1／3	0.968
男子 95kg	ALIPOUR(IRI)・ADILETULY(KAZ)・VALLENILLA(VEN)	NASAR(BUL)・ADILETULY(KAZ)・ALIPOUR(IRI)	×／低	2／3	0.918
男子 110kg	DJURAEV(UZB)・KARAPETYAN(ARM)・NASIRI(IRI)	DJURAEV(UZB)・NASIRI(IRI)・MATYAKUBOV(TKM)	○／低	2／3	0.925
男子+110kg	DAVOUDI(IRI)・LALAYAN(ARM)・RUBAIAWI(IRQ)	RUBAIAWI(IRQ)・YOUSEFI(IRI)・LALAYAN(ARM)	×／低	2／3	0.971

1-2 主な相違点

- **男子 65kg 級：**優勝予想の HE Yueji（中国）が 6 位。スナッチ 148kg で首位に立ちながら、ジャークは 167kg の後、177kg を 2 回失敗。PAK Myong Jin（北朝鮮）がジャーク・トータルの世界記録で優勝し、1kg 差で OZBEK（トルコ）、3kg 差で MORRIS（米国）が続いた。
- **男子 70kg 級：**優勝予想の RI Won Ju（北朝鮮）は 2 位。ジャークで 205kg に挑んだ際にひじを負傷した。予想 2 位の PAK Pyol（北朝鮮）がスナッチ 157kg・トータル 355kg の世界記録で優勝。出場 11 名のうち 4 名が記録なし。
- **男子 75kg 級：**予想した 3 人がそのまま表彰台に入ったが、順位は入れ替わった。RI Ryong Hyon（北朝鮮）が 365kg で優勝、ABDULLAH（インドネシア）は 2 位。

- **男子 85kg 級：**予想 1 位の LOPEZ（コロンビア）は 2 位。予想 6 位の ELSAYED ABDELRAHMAN（エジプト）が、スナッチ 177kg・トータル 390kg の世界記録で優勝した。予想レポートで「88kg 級の記録が根拠のため実質は中程度」と注記した階級。
- **男子 95kg 級：**予想 5 位の NASAR（ブルガリア）が 6 本すべて成功し、スナッチ 185kg・ジャーク 230kg・トータル 415kg の世界記録で優勝。予想より 27kg 上振れした。予想 1 位の ALIPOUR（イラン）は 3 位。
- **男子+110kg 級：**予想 1 位の DAVOUDI（イラン）が 4 位。ジャーク 246kg の後、261kg を 2 回失敗。予想 3 位の RUBAIAWI（イラク）が 466kg で優勝した。
- **女子 53kg 級：**予想 3 位の STERCKX（ベルギー）がスナッチ 91kg を 3 回失敗して記録なし。B 組から出た KIM So Hyon（北朝鮮）が 214kg で銅メダル。
- **女子 61kg 級：**1〜3 位の顔ぶれは予想どおりだが、PEI Xinyi（中国）がジャーク 142kg・トータル 254kg の世界記録で、YANG Liuyue（中国）を逆転した。
- **女子 77kg 級：**中国の 2 人の順位が予想と逆になった。PENG はスナッチで世界記録 126kg を挙げたが、ジャークが 136kg にとどまり、YANG Qiuxia が 265kg で優勝。
- **男子 110kg 級：**優勝は予想どおり DJURAEV（ウズベキスタン）で、スナッチ 198kg・トータル 432kg の世界記録。予想 2 位の KARAPETYAN（アルメニア）はジャーク 217kg を 2 回失敗し、試技を棄権して記録なし。

1-3 予想の精度を分解する

根拠のある予想と、申告値だけの予想

予想の根拠	人数	平均誤差	誤差率	偏り（実際－予想）
直近の大会記録で補正	149 名	5.8kg	2.0%	−1.7kg
申告トータルのみ	292 名	7.7kg	3.4%	+0.3kg

実績で補正した選手は誤差率が 2.0%と、トップ選手の大会ごとの変動幅（1.5〜2%）に近い水準でした。予想式の考え方そのものは妥当で、精度を下げたのは、実績のない選手が全体の 3 分の 2 を占めたことです。

参考にした大会ごとの当てはまり

参考にした大会	人数	実際－参考記録（平均）	参考記録との平均差	評価
アジア大会 2026（9 月）	64 名	−0.1kg	5.0kg	最も信頼できる
中国 GP2026	9 名	+2.2kg	5.3kg	中国選手は国内記録どおりかそれ以上

参考にした大会	人数	実際－参考記録（平均）	参考記録との平均差	評価
アジア選手権 2026	14 名	＋0.3kg	6.4kg	信頼できる
欧州選手権 2026	29 名	＋3.3kg	6.1kg	やや控えめ（実際は上振れ）
パンアメリカン選手権 2026	25 名	－3.0kg	7.4kg	やや過大
2025 年世界選手権	8 名	＋0.6kg	10.1kg	1 年前の記録はばらつきが大きい

アジア大会から寧波までは約 5 週間でしたが、アジア大会出場選手の記録は平均で 0.1kg しか下がっていません。連戦による疲労が全体として記録を押し下げた形跡はありません。ただし、アジア大会の優勝者 12 名に限ると平均 2.8kg 下回っており、9 月に最高の状態を合わせた選手は、わずかに落としています。

組ごとの傾向

組	記録を残した人数	実際÷申告	予想との偏り	失格率
A 組	140 名	98.5%	－2.0kg	14.6%
B 組	126 名	97.0%	－3.6kg	11.9%
C 組	108 名	97.6%	－0.3kg	12.2%
D 組	67 名	100.4%	＋8.9kg	6.9%

D 組には申告値に 0.96 を掛けましたが、実際は申告どおり（100.4%）挙げており、補正が厳しすぎました。逆に B 組は申告の 97.0%にとどまりました。B 組は「A 組に入れなかった実力者」が多く、申告を高めに出す傾向が考えられます。A 組は失格率が 14.6%と最も高く、上位争いで重い重量に挑む分、崩れる確率も高くなります。

国ごとの申告の癖

北朝鮮（13 名）と中国（16 名）は、1 人も失格せず、実際のトータルが申告を平均で 3.2kg・1.8kg 上回りました。両国は申告を控えめに出し、確実に上積みしてくる傾向があります。一方、トルコ（－10.4kg）、アルメニア（－11.9kg、13 名中 5 名が失格）、ウズベキスタン（－8.3kg）、イラン（－7.3kg）は、申告より大きく下回りました。今後の予想では、国ごとの申告の癖を補正に加えることで精度を上げられます。

2. 上位に振れた選手の考察

予想トータルより大きく上回った選手を挙げます。「試技」は成功した重量を数字、失敗を×、試技を行わなかったものを「棄権」で示しています。

階級	選手（国）	予想→実際（順位）	差	試技（スナッチ／ジャーク）
男子 95kg	NASAR Karlos May（BUL）	388（5 位）→415（1 位）	+27	175・180・185／213・220・230
男子 110kg	CHEN Po-Jen（TPE）	388（13 位）→410（5 位）	+22	185・191・×194／210・219・×226
男子 70kg	PAK Pyol（PRK）	337（2 位）→355（1 位）	+18	150・155・157／190・195・198
男子 85kg	ELSAYED ABDELRAHMAN Mohamed Younes（EGY）	375（6 位）→390（1 位）	+15	174・×177・177／204・208・213
女子 53kg	KIM So Hyon（PRK）	201（11 位）→214（3 位）	+13	88・×91・91／115・121・123
男子 65kg	MORRIS Hampton Miller（USA）	316（6 位）→328（3 位）	+12	132・137・143／180・185・×189
男子 85kg	LEI Jiangqing（CHN）	372（7 位）→382（3 位）	+10	163・168・×173／203・211・214
男子+110kg	RUBAIAWI Ali Ammar Yusur（IRQ）	455（3 位）→466（1 位）	+11	206・211・×220／240・250・255
女子 61kg	PEI Xinyi（CHN）	246（2 位）→254（1 位）	+8	106・109・112／135・140・142
女子 86kg	LIAO Guifang（CHN）	284（1 位）→291（1 位）	+7	122・125・128／155・162・163

NASAR Karlos May（ブルガリア、男子 95kg 級）

パリ五輪の金メダリストで、2025 年世界選手権でも世界記録を出した、この階級の実績最上位の選手でした。予想では欧州選手権 2026 の 386kg を参考にしたため 5 位としましたが、寧波では 6 本すべてを成功させ、3 つの世界記録を更新しました。欧州選手権は移行期の 94kg 級で、今季は本格的な調整を寧波に合わせたとみられます。実績のある選手の「前回大会の記録」を、その選手の上限とみなしてしまったのが外れた理由です。

ELSAYED ABDELRAHMAN Mohamed Younes（エジプト、男子 85kg 級）

2004 年生まれで、2025 年世界選手権は 360kg でした。今大会ではスナッチを 174kg→177kg と世界記録で刻み、ジャークも 3 本成功して 390kg まで伸ばしました。1 年前の記録しか参照できなかった若手で、成長分を予想に織り込めなかった例です。

PAK Pyol（北朝鮮、男子 70kg 級）

国際大会の公表記録が見つからず、申告値だけで予想した選手です。スナッチ世界記録 157kg とトータル 355kg で優勝しました。北朝鮮は申告を控えめに出す傾向があり、加えて同国の RI Won Ju が負傷したことで、チーム内の優勝争いの重圧からも解放されたとみられます。

CHEN Po-Jen（チャイニーズタイペイ、男子 110kg 級）・KIM So Hyon（北朝鮮、女子 53kg 級）

いずれも B 組から上位に入った選手です。CHEN は申告 396kg を 14kg 上回る 410kg で 5 位、KIM は申告 205kg を 9kg 上回る 214kg で銅メダルを獲得しました。B 組で先に試技を終えて記録を出し、後の A 組の選手がそれを越えられなかった形です。B 組からの上位進出は、A 組で失格者が出る大会ほど起こりやすくなります。

上振れに共通する要素

- ミスが少ない：NASAR と OZBEK（トルコ）、PENG（中国）は 6 本すべて成功。上振れした選手の多くが 5 本以上成功していた。
- 若い選手が伸びた：NASAR、ELSAYED、PEI Xinyi、LEI Jiangqing（中国、2003 年生まれ）など、2003〜2005 年生まれの選手が予想を上回った。
- 控えめな申告：北朝鮮と中国は申告を上回る記録を出しており、申告値をそのまま使うと過小評価になる。

3. 下位に振れた選手の理由の推察

3-1 記録なし（失格）・欠場となった予想上位選手

階級	選手（国）	予想順位	状況	試技（スナッチ／ジャーク）
女子 49kg	ALTUN Gamze（TUR）	4 位	記録なし	72・×75・76／×98・×98・×100
女子 49kg	GARCIA RINCON Marta（ESP）	7 位	記録なし	×77・77・×80／×88・×88・×92
女子 53kg	STERCKX Nina（BEL）	3 位	記録なし	×91・×91・×91／112・×117・×121
女子 61kg	SHAFT Sophia Plum（USA）	4 位	記録なし	×105・×105・105／×130・×130・×130
女子 69kg	TOKO KEGNE Genna Romida（ITA）	4 位	記録なし	104・×108・×110／×130・×135・×137
女子 86kg	GYURJYAN Liana（ARM）	7 位	記録なし	102・×105・×106／×135・×135・×135
女子+86kg	OUISAL Ikhlef（QAT）	5 位	出場せず	—
男子 60kg	CHHUM Gabriel John（USA）	6 位	記録なし	120・×125・×125／棄権・棄権・棄権
男子 60kg	DANEV Deniz Gretov（BUL）	7 位	記録なし	115・117・×119／×148・×150・×150
男子 65kg	ERGASHEV Adkhamjon（UZB）	7 位	記録なし	×133・×133・×134／163・167・×170
男子 70kg	LEE Sangyeon（KOR）	4 位	記録なし	棄権・棄権・棄権／棄権・棄権・棄権
男子 70kg	DANILCHYK Artsem（BLR）	5 位	記録なし	×138・×138・×138／×168・×168・168
男子 70kg	RUSTAMOV Isa（AZE）	6 位	記録なし	×143・×143・×144／165・×175・×175
男子 70kg	CARDENAS ESTRADA Jorge Adan（MEX）	8 位	記録なし	×145・×145・×149／棄権・棄権・棄権
男子 95kg	SALEM Yasser（BIH）	6 位	記録なし	×163・×163・×163／棄権・棄権・棄権
男子 95kg	LOZKA Ihar（BLR）	8 位	記録なし	×175・×175・×175／棄権・棄権・棄権
男子 110kg	KARAPETYAN Garik（ARM）	2 位	記録なし	183・×188・×188／×217・×217・棄権
男子 110kg	HRISTOV Hristo Dimitrov（BUL）	5 位	記録なし	×180・180・186／×210・×210・×210

予想上位 8 名に入っていた選手のうち 18 名が記録を残せませんでした。リザルトブックの試技内容と報道から、理由は次の 4 つに分けられます。

- **けが：**RI Won Ju（北朝鮮、男子 70kg 級）はジャーク 205kg でひじを負傷。KARAPETYAN Garik（アルメニア、男子 110kg 級）はジャーク 217kg を 2 回失敗した後に試技を棄権し、LEE

Sangyeon（韓国、男子 70kg 級）は競技開始前に棄権しました。DOLEGA（ポーランド、女子 69kg 級）もスナッチ 105kg でひじを痛めて棄権しています。

- **第 1 試技の重量で崩れた：**STERCKX（女子 53kg 級）はスナッチ 91kg、HRISTOV（男子 110kg 級）はジャーク 210kg、SARRIA（キューバ、女子+86kg 級）はジャーク後半の 160kg と、同じ重量を繰り返して失敗しました。第 1 試技を確実に取れる重量に設定していれば記録は残せた可能性があります。
- **非五輪階級の層の薄さ：**男子 70kg 級は 11 名のうち 4 名、男子 60kg 級は 14 名のうち 3 名が記録なしでした。五輪階級ではないため、調整が十分でない選手の出場も含まれていたとみられます。
- **チーム全体の不調：**アルメニアは 13 名中 5 名が記録なし、ブルガリアは NASAR 以外の 4 名全員が記録なしでした。個人の問題というより、チームの調整や重量設定の判断に原因があった可能性があります。

3-2 記録は残したが大きく下回った選手

階級	選手（国）	予想→実際（順位）	差	試技（スナッチ／ジャーク）
男子 65kg	HE Yueji（CHN）	328（1 位）→315（6 位）	-13	142・×147・148／167・×177・×177
男子+110kg	DAVOUDI Ali（IRI）	462（1 位）→452（4 位）	-10	200・206・×210／246・×261・×261
男子 95kg	VALLENILLA SANCHEZ Keydomar Giovanni（VEN）	390（3 位）→370（10 位）	-20	×165・×165・165／205・×209・棄権
女子 57kg	OH Kwang Ok（PRK）	239（1 位）→227（1 位）	-12	97・×102・102／×125・125・×130
女子+86kg	SARRIA RUIZ Marifelix（CUB）	280（3 位）→261（7 位）	-19	108・×112・×112／153・×160・×160
男子 75kg	DONOSE Tiberiu Ionut（ROU）	344（7 位）→327（17 位）	-17	150・×155・×156／177・×182・×182
男子 75kg	KAHRIMAN Kaan（TUR）	346（4 位）→334（12 位）	-12	×155・155・159／175・×180・×182

- **優勝を狙った大きな上積み：**HE Yueji（男子 65kg 級）はジャーク 167kg から一気に 177kg へ 10kg 上げ、DAVOUDI（男子+110kg 級）は 246kg から 261kg へ 15kg 上げて、いずれも 2 回失敗しました。優勝に必要な重量を逆算した結果で、地元開催や連覇の重圧の中での勝負でした。失敗の性質は「力不足」より「勝負の結果」と見るべきです。
- **アジア大会でのピーク：**OH Kwang Ok（北朝鮮、女子 57kg 級）はアジア大会で 238kg の世界記録を出しましたが、寧波は 227kg で、ジャークは 2 回失敗しました。それでも 2 位に 12kg 差で優勝しており、勝ちを確実にする試技を選んだ面もあります。アジア大会の優勝者 12 名は平均で 2.8kg 下回っており、9 月に頂点を合わせた選手には、わずかな反動がありました。

- **序盤の失敗の連鎖：**VALLENILLA（ベネズエラ、男子 95kg 級）はスナッチ 165kg を 2 回失敗し、ジャークも 2 本目を失敗した後に試技を棄権しました。けがの可能性があります。

4. 検量「競技開始 3 時間前」の影響の検証

予想レポートでは、検量が競技開始の 3 時間前になり、減量の大きい選手の試技成功率が上がる可能性を指摘しました。リザルトブックの全試技の成否から検証しました。

対象	試技数	成功率	比較
全選手・全試技	2,902	56.2%	—
全選手・スナッチ第 1 試技	499	71.7%	—
全選手・ジャーク第 1 試技	480	76.9%	—
メダリスト（48 名）・全試技	282	74.8%	2011〜2023 年の世界選手権メダリスト：約 73%
男子メダリスト・スナッチ	71	77.5%	同 74.5%
男子メダリスト・ジャーク	70	74.3%	同 72.0%
女子メダリスト・スナッチ	71	70.4%	同 73.7%
女子メダリスト・ジャーク	70	77.1%	同 71.6%

メダリストの成功率は、4 項目のうち 3 項目で過去の水準を上回りました。ただし、各項目の試技数は 70 本前後で、この程度の差（2〜5 ポイント）は偶然でも生じる範囲です。現時点では「成功率が上がった」とも「変わらない」とも結論できません。

- **検証の限界：**リザルトブックに検量体重が載っていないため、減量幅の大きい選手とそうでない選手の比較ができません。検証には、各選手の検量体重と普段の体重（または前大会の検量体重）が必要です。
- **世界記録の多さは検量変更の証拠にならない：**今大会ではシニアの世界記録が延べ 42 回更新されました。しかし階級が 2025 年と 2026 年に変わったばかりで、多くの記録はまだ「世界基準記録」から伸びている段階です。記録の多さは、主に階級変更の影響と考えられます。
- **今後の検証方法：**12 月のドーハ予選以降も同じ検量規則が続く見込みです。IWF の結果データベースから選手ごとの検量体重を集め、「階級上限との差が小さい（＝減量している）選手」の成功率を、2025 年以前の大会と比べることを提案します。

なお、階級を一つ下げた選手の例として、日本の宮本昌典は今回 70kg 級ではなく 75kg 級に出ましたが、343kg は 70kg 級なら RI Won Ju と同記録で、2〜3 位相当でした。非五輪階級の記録は一つ上の五輪階級に合算されるため、検量が 3 時間前になったことで、減量して軽い階級でメダルを狙いつつ予選ポイントも得る戦略の価値が高まっています（日本選手編で詳述）。

5. 2028 年ロサンゼルス五輪までの予想

5-1 寧波大会後の予選ランキング（試算）

LA28 の予選ランキング（OQR）は、五輪階級ごとに 1 か国 1 名を並べ、Period 1 の上位 3 大会と Period 2 の上位 2 大会のトータル合計で順位を決めます。寧波はその最初の大会です。寧波の記録だけで五輪階級ごとに並べ直すと、次のようになります。

五輪階級	上位 8 か国（記録順）	8 位ライン	予想した 8 位ライン	日本の最上位
男子 65kg	PRK・TUR・USA・CHN・VIE・INA・COL・JPN	295kg	309kg	8 番目（295kg）
男子 75kg	PRK・INA・THA・COL・JPN・KOR・TKM・CHN	339kg	343kg	5 番目（343kg）
男子 85kg	EGY・COL・CHN・PRK・KAZ・MDA・UZB・IRI	363kg	370kg	14 番目（348kg）
男子 95kg	BUL・KAZ・IRI・KOR・CHN・GEO・UZB・KOS	371kg	383kg	16 番目（360kg）
男子 110kg	UZB・IRI・TKM・ROU・TPE・CHN・USA・KAZ	393kg	402kg	12 番目（385kg）
男子+110kg	IRQ・IRI・ARM・RUS・UKR・UZB・COL・KOR	415kg	414kg	13 番目（385kg）
女子 53kg	CHN・USA・PRK・THA・PHI・UZB・ROU・IND	198kg	205kg	11 番目（196kg）
女子 61kg	CHN・PRK・TPE・COL・USA・CAN・UKR・PHI	227kg	229kg	17 番目（212kg）
女子 69kg	PRK・COL・BLR・KOS・DOM・RUS・EGY・CAN	238kg	241kg	16 番目（228kg）
女子 77kg	CHN・EGY・COL・RUS・USA・FIN・MEX・BRA	239kg	246kg	出場なし
女子 86kg	CHN・BRN・DOM・USA・TKM・KOR・GBR・ARM	249kg	254kg	12 番目（244kg）
女子+86kg	CHN・KOR・VEN・TPE・KAZ・CUB・BRA・EGY	259kg	265kg	出場なし

8 位ラインは 12 階級中 11 階級で予想を下回り、平均で約 6kg 低くなりました。上位候補の失格が、そのままラインを押し下げています。今後、失格した有力選手（KARAPETYAN、STERCKX、SHAFT など）が記録を残せば、ラインは予想した水準まで戻ると見込まれます。

5-2 勢力図の見通し

- **北朝鮮と中国の二強：**トータルの金メダルは北朝鮮 6、中国 6 で、16 階級中 12 を分けました。両国とも失格者がゼロで、予選の「確実に記録を残す」という条件にも強い国です。ただし北朝鮮は国際大会への出場が不規則だった時期があり、Period 1 で 3 回の記録を残せるかが最大の不確定要素です。
- **各国の上限 3 名による入れ替わり：**寧波の記録で上位 8 位に入る階級は、中国が男子 5・女子 5、イランが男子 4 です。各国の上限は男女各 3 名のため、中国は男女とも 2 階級、イランは 1 階級を手放す必要があります。空いた枠は 9 番手以下の国に回ります。
- **ロシア・ベラルーシの復帰：**IWF は 2026 年 6 月にロシア・ベラルーシ選手の国旗での出場を認め、IOC も 7 月にロシア五輪委員会の資格停止を暫定的に解除しました。寧波ではロシアが女子

69・77kg 級、男子+110kg 級などで上位 8 位に入っており、五輪枠争いが一段と厳しくなります。

- **次の予選大会：**Period 1 の第 2 戦は 12 月 7〜16 日の IWF 予選 I（カタール・ドーハ）です。この大会は 1 か国の出場人数に上限がないため、層の厚い国ほど多くの選手が記録を積み上げられます。

5-3 五輪階級ごとの見通し（2028 年時点の有力候補）

五輪階級	有力候補	見通し
男子 65kg	PAK Myong Jin（北朝鮮）、OZBEK（トルコ）、MORRIS（米国）、DING／HE（中国）	1〜4 位が 6kg 以内の最激戦区。中国は上限の関係でこの階級を選ばない可能性がある。
男子 75kg	RI Ryong Hyon（北朝鮮）、ABDULLAH（インドネシア）、WICHUMA（タイ）	3 強と 4 位以下に約 10kg の差。70kg 級の PAK Pyol（北朝鮮）が 75kg 級に合流すれば 4 強。
男子 85kg	ELSAYED（エジプト）、LOPEZ（コロンビア）、RO（北朝鮮）、CHURKIN（カザフスタン）	上位 5 人が 12kg 以内。若い ELSAYED の伸びが最大の変数。
男子 95kg	NASAR（ブルガリア）	2 位に 16kg 差。NASAR の独走が濃厚で、2 位以下を ADILETULY（カザフスタン）、ALIPOUR（イラン）が争う。
男子 110kg	DJURAEV（ウズベキスタン）	世界記録 432kg で 2 位に 14kg 差。KARAPETYAN（アルメニア）が復調すれば対抗。
男子+110kg	RUBAIAWI（イラク）、YOUSEFI（イラン）、LALAYAN（アルメニア）、DAVOUDI（イラン）	4 強が 14kg 以内。イランは上限で 1 人に絞る必要がある。
女子 53kg	ZHANG Haiqin（中国）、ULREY（米国）、RI Song Gum（北朝鮮）	RI Song Gum の 49kg 級 211kg はこの階級に合算されるが、53kg 級の上位とは差がある。
女子 61kg	PEI Xinyi・YANG Liuyue（中国）、PAK Jin Hae（北朝鮮）	中国の 2 人はどちらか 1 人。
女子 69kg	SONG Kuk Hyang（北朝鮮）	2 位に 16kg 差の独走。2 位争いは 15 歳の IBANEZ（コソボ）など若手が台頭。
女子 77kg	YANG Qiuxia・PENG Cuiting（中国）、AHMED（エジプト）	中国は上限でこの階級を外す可能性があり、その場合はエジプト・コロンビア・ロシアの争い。
女子 86kg	LIAO Guifang（中国）	世界記録 291kg で 2 位に 19kg 差。2025 年王者 KOANDA（ノルウェー）は寧波に不出場。
女子+86kg	LI Yan（中国）	317kg で 2 位に 31kg 差。PARK Hyejeong（韓国）が 2 番手。

5-4 今後の予想に生かす改善点

- **組の補正値を見直す：**D 組は申告どおり（係数 1.00）、B 組は 0.97 程度が実態に合います。
- **国ごとの申告の癖を加える：**北朝鮮・中国は申告を上回り、トルコ・アルメニア・ウズベキスタンなどは下回る傾向がありました。
- **失格の確率を順位予想に入れる：**失格率は全体 12.2%、A 組 14.6%でした。一つの順位を出すより、「メダル獲得の確率」として示すほうが実態に合います。
- **重い階級の記録は割り引く：**88kg 級の記録を根拠にした LOPEZ の予想は外れました。移行期の重い階級の記録は、体重差に応じて減らして使うべきです。

- **若手の成長を織り込む：**1 年前の記録しかない 2003 年以降生まれの選手は、上振れが目立ちました。

参考資料

- IWF「2026 IWF World Championships Results Book」（2026 年 11 月 8 日作成）
- IWF「2026 IWF World Championships Start Book」（2026 年 10 月 16 日作成）
- IWF「Qualification System – Games of the XXXIV Olympiad LA28 Weightlifting」（2026 年 10 月 2 日版）
- Weightlifting House「2026 World Weightlifting Championships Results」 https://store.weightliftinghouse.com/blogs/news/2026-world-weightlifting-championships-results
- Fitness Volt「Karlos Nasar (U95KG) Sweeps Three World Records」 https://fitnessvolt.com/karlos-nasar-three-world-records-2026-iwf-world-weightlifting-championships/
- SBS News「North Korea's Pak Myong-jin Wins World Weightlifting Championships 65kg Title」 https://news.sbs.co.kr/english/article.do?news_id=N1008821372
- CGTN「Yang Yang strikes double gold」「China's Liao sweeps women's 86kg gold medals」 https://news.cgtn.com/
- Karlobag.eu「North Korea's 20 golds at the 2026 weightlifting worlds in Ningbo」
- Scientific Reports「Analysis of successful and unsuccessful snatch and clean and jerk lifts in IWF World Championships (2011–2023)」 https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11564635/
- SportsEdTV「The Three-Hour Weigh-In: What It Means for Weightlifting」 https://sportsedtv.com/blog/the-three-hour-weigh-in-what-it-means-for-weightlifting
- Razom「Weightlifting returns Russia and Belarus to national flag」 https://razomua.media/en/news/sport/
- CP24 / AP「IOC ending neutral status vetting for Russian athletes ahead of 2028 LA Olympics」（2026 年 7 月 7 日）
- IWF「1st IWF Qualifier LA28 Doha QAT Regulations」

・ Wikipedia「2025 World Weightlifting Championships – Women's 86 kg」